

地上デジタルアンテナの取り付けかた

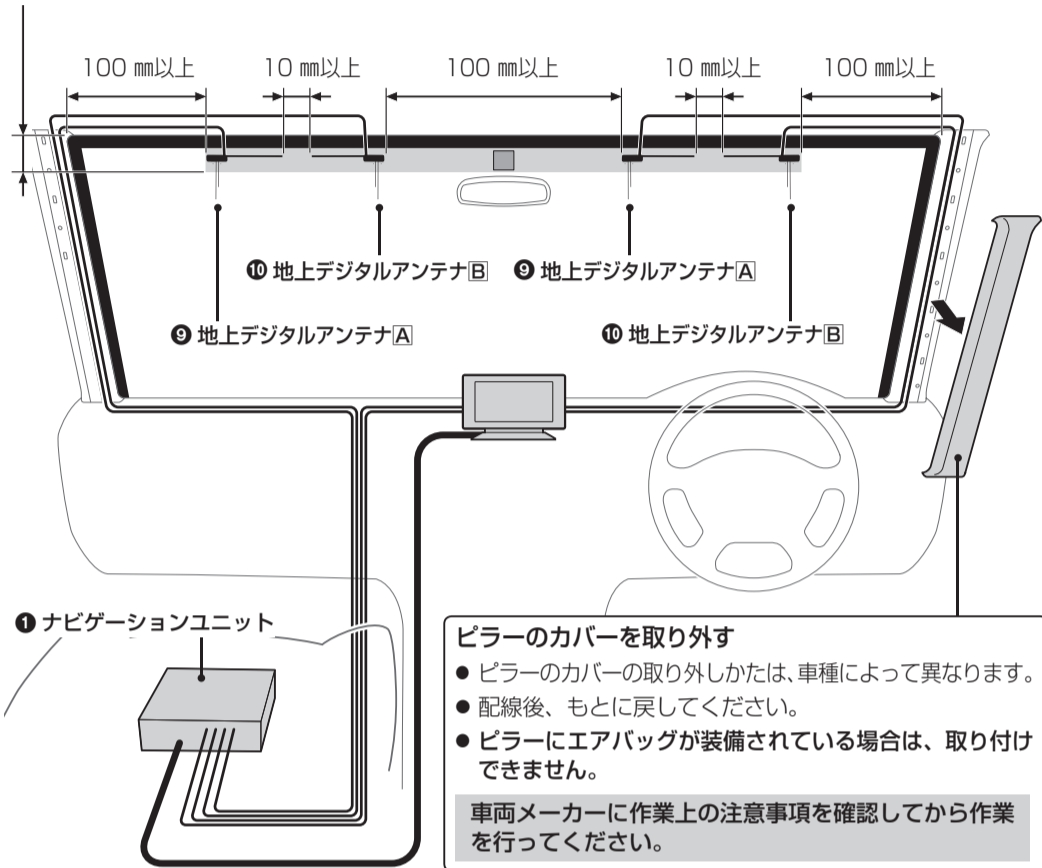
アンテナの貼り付け位置について

- **必ず車室内(フロントガラスの上側)に貼り付けてください。**
サイドガラスやリヤガラスには貼らないでください。十分な受信状態が得られません。
- **性能を十分発揮するために、必ず指定の位置に、正しい向きで貼り付けてください。**
指定の位置や寸法内に貼り付けられない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- **国土交通省の定める保安基準*に適合させるため、アンテナの給電部およびコードの端子は、必ず取付許容範囲内(下図の ■ 部)に貼り付けてください。**

*道路運送車両の保安基準第29条(窓ガラス)、細目告示第39条および別添37

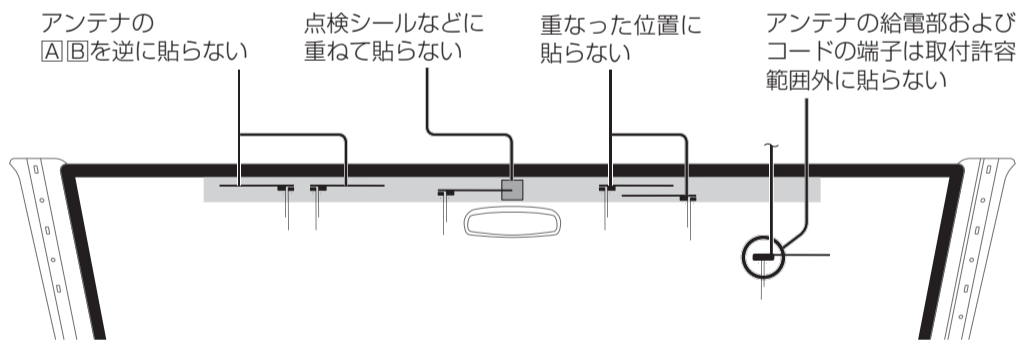
取付許容範囲: ■ 部

アンテナの給電部をフロントガラスの上端から25 mm以内に貼り付けてください。
セラミックライン(黒い縁)の上にも貼り付けられます。



下記のような貼り付けは、絶対にしないでください。

- 国土交通省の定める保安基準に適合しない場合があります。
- アンテナの性能を十分に発揮できません。



取り付ける前に

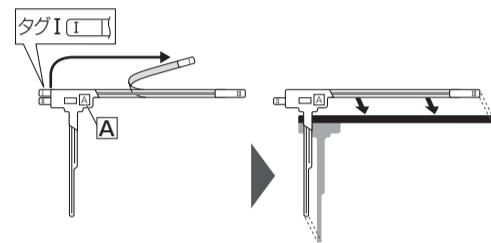
- アンテナを折り曲げないよう、お取り扱いにご注意ください。
- 貼り付ける前に、付属のクリーナーで設置面(ガラス面、ピラー)の汚れ(ごみ・ほこり・油)などをきれいに拭き取り、運転者の視界を妨げない位置に、はがれないようしっかり貼り付けてください。
・ガラス面が完全に乾いた状態で作業を行ってください。接着不良などによるはがれの原因となります。
・気温が低いとき(20℃以下)は、車内ヒーターやデフロスタでフロントガラスを温めてください。
・界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- 仮止めして、貼り付ける位置と左右の向きをご確認ください。貼りなおせません。
- 糊面や給電部に手を触れないでください。接触不良によるはがれの原因となります。
- 妨害を防ぐため、GPSアンテナや別売のVICSビーコンユニット、およびそれらのコードから15 cm以上離して貼り付けてください。
- 車種によって、性能が発揮できない場合があります。
熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店にご相談ください。

(A)を例に説明しています。(B)も左右対称にして同様に貼り付けてください。
必ず指定の位置に、正しい向きで貼り付けてください。

フロントガラスにアンテナを貼り付ける

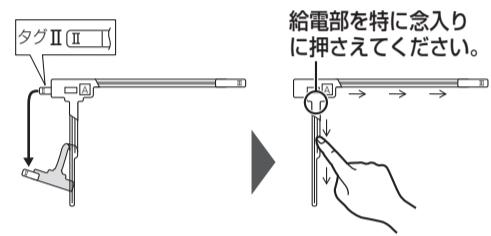
1 タグIを持ってセパレーターをはがし、貼り付ける

- 強く曲げる、急にはがす、引っ張るなどしないでください。断線の原因になります。
- 貼付位置を確認してから貼り付けてください。



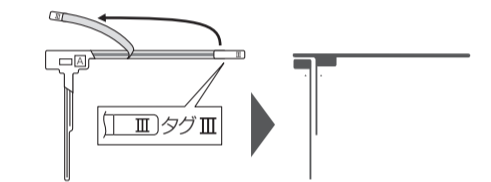
2 タグIIを持ってセパレーターをはがし、アースパターン/給電部/エレメントをしっかりとガラス面に密着させる

- 貼り付けたあと、矢印の方向に、指などで均等に押し付け、ガラス面に密着させてください。
- 車外から見て、ガラス面に密着していることを確認してください。



3 タグIIIを持って、フィルムをゆっくりとはがす

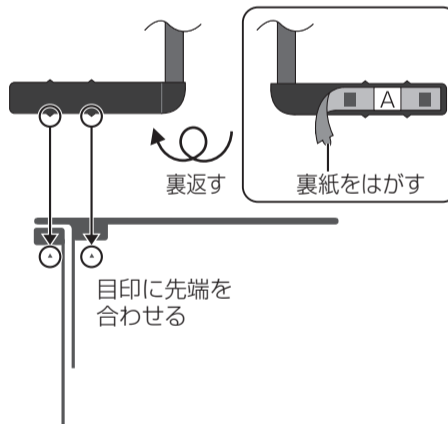
- アースパターン/給電部/エレメントが貼り付いていることを確認してください。
- フィilm側に残る場合は、フィルムをもとに戻して全体を上からこすり、再度はがしてください。



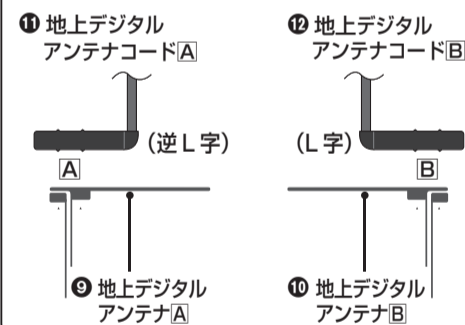
4 他の3枚も同様に貼り付ける

アンテナコードを取り付ける

1 端子をエレメントの給電部に貼り付ける



同じマークのアンテナとコードを組み合わせてください。



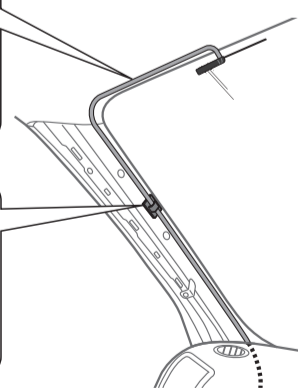
2 コードを引き回す



アンテナコードをドライバーなどの先のとがったもので、ピラーやルーフィングの端から無理に押し込んだりしないでください。
コードが傷つき故障の原因となります。

- 他のコード類からできるだけ離してください。
また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。
TVの音声に雑音が入る原因となります。

⑬ コードクランパー
コードの要所を固定する



3 他の3本も同様に貼り付ける

4 アンテナコードをナビゲーションユニットに接続する (→右記「配線のしかた」)